

癌化学療法レジメン登録書

レジメン名	mFOLFIRINOX
対象疾患	治癒切除不能な膵癌
1クールの日数	14日
目標コース数	可能な限り継続

	抗がん剤名	略号	1日投与量	単位	投与方法	投与時間	投与日
1	オキサリプラチン	L-OHP	85	mg/m ²	div	2時間	d1
2	レボホリナート	I-LV	200	mg/m ²	div	2時間	d1
3	イリノテカン	IRI	150	mg/m ²	div	90分	d1
4	5-FU	5-FU	2400	mg/m ²	div	46時間	d1~3
5							
6							
補足							

催吐リスク	高度
前投薬	パロノセトロン注0.75mg、デカドロン注9.9mg、ホスアプレピタント注150mg
減量規定	<p>オキサリプラチン、イリノテカン：好中球減少(500/mm³未満、感染症または下痢を併発かつ1,000/mm³未満)、発熱性好中球減少症、血小板減少(50,000/mm³未満)</p> <p>※好中球減少：イリノテカンを優先的に減量。血小板減少：オキサリプラチンを優先的に減量</p> <p>オキサリプラチン：末梢神経症状(Grade2以上)</p> <p>イリノテカン：血清ビリルビン2.0mg/dL以上</p> <p>5-FU：血清ビリルビン>5.0mg/dLの場合は投与禁忌、下痢(Grade3以上)</p> <p>減量目安：オキサリプラチン 1段階減量…65mg/m²、2段階減量…50mg/m²</p> <p style="padding-left: 40px;">イリノテカン 1段階減量…120mg/m²、2段階減量…90mg/m²</p> <p style="padding-left: 40px;">5-FU 1段階減量…1800mg/m²、2段階減量…1200mg/m²</p>
主な副作用	末梢神経障害、悪心・嘔吐、食欲不振、骨髄抑制、口内炎、下痢、倦怠感、脱毛
参考文献	<p>医薬品インタビューフォーム (5-FU)</p> <p>適正使用ガイド (FOLFIRINOX療法)</p> <p>制吐薬適正使用ガイドライン (日本癌治療学会)</p>
その他	5-FU：46時間投与の際はインフューザーポンプ使用

投与スケジュール

Day (1)			
滴下順	手技・薬品名・規格	用量	投与時間
1	中心静脈（埋込型カテーテル使用） 生理食塩液250mL 1日1回（持続）	1本	持続
2	点滴中心静脈 メイン1側管1 パロノセトロン注バッグ0.75mg デカドロン注6.6mg デカドロン注1.65mg 1日1回	1本 1本 2本	15分
3	点滴中心静脈 メイン1側管1 生理食塩液100mL ホスアプレピタント注150mg 1日1回	1本 1本	30分
4	点滴中心静脈 メイン1側管1 5%ブドウ糖液250mL オキサリプラチン注 1日1回 投与前30分空ける	1本 85mg/m ²	2時間
5	点滴中心静脈 メイン1側管1 5%ブドウ糖液250mL レボホリナート注 1日1回	1本 200mg/m ²	2時間
6	点滴中心静脈 メイン1側管1 5%ブドウ糖液250mL イリノテカン注 1日1回 レボホリナート注投与開始30分後に投与	1本 150mg/m ²	90分
7	中心静脈（埋込型カテーテル使用） 5%ブドウ糖液250mL 5-FU注 1日1回（持続） 薬剤部はフェーザーの換算表を参照し調製	1本 2400mg/m ²	46時間